



第210号 令和2年(2020年)2月5日

# 市議会だより

## ■主な内容

12月定例議会の概要	2
主な議案審査状況	2
議決一覧	6
一般質問	7
第11回議会報告会の概要	13
市政への提言	14



12月22日に議場で届け出挙式が行われました！  
市の政策として若い世代の定住人口確保と結婚支援につなげる  
ため、平成28年度から行われています。

市議会の詳しい情報は鈴鹿市議会のホームページをご覧ください

鈴鹿市議会

検索

<http://www.city.suzuka.lg.jp/gikai/>



# 12月定例議会の概要

## 12月定例議会を11月25日から12月20日までの26日間の期間で開催し 鈴鹿市一般会計補正予算案など9議案を可決しました

12月定例議会初日の11月25日には、市長から「令和元年度鈴鹿市一般会計補正予算（第4号）」など6件の議案が提出され、提案説明が行われました。

12月3日には、提出議案に対する質疑を行い、3日・4日・5日・6日・9日の5日間では、23名の議員が一般質問を行いました。

9日には、議案6件を委員会に付託した後、「令和2年度自動車関係諸税の簡素化、負担軽減を求める請願書」を委員会に付託しました。9日・11日・12日・17日には、各委員会で付託議案の審査などを行いました。

最終日の12月20日には、付託議案について各委員長から審査結果の報告があり、その後、2名の議員が討論を行い、採決の結果、議案6件はいずれも可決しました。付託請願については総務委員長から審査結果の報告があり、採決の結果、採択しました。また、委員会発議案として意見書案が提出され、提案説明の後、可決しました。市長からは「鈴鹿市公平委員会委員の選任同意について」など2件の議案が追加提出され、提案説明の後、いずれも同意することに決定しました。その後、2月18日までを休会とすることを決定し、散会しました。



## 各委員会での主な議案審査状況

### 総務委員会

#### 議案第94号 鈴鹿市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について 嘱託職員・臨時職員が4月から会計年度任用職員に

**（概要）** 地方公務員法および地方自治法の改正により、特別職の任用および臨時的任用の厳格化、一般職の非常勤職員の任用などに関する制度の明確化が図られることに伴い、会計年度任用職員の給与および費用弁償に関し必要な事項を定める条例を制定しようとするもの。

**質疑** フルタイム会計年度任用職員（現在の嘱託職員）の期末手当の支給率について、半年ごとに「100分の130以下の割合で任命権者が規則等で定める割合」と規定しているが、正規職員と同様に、半年ごとに100分の130月分を支給することは考えていないのか。

**答弁** フルタイム会計年度任用職員の期末手当について、令和2年度は、半年ごとに100分の100月分を支給を予定している。正規職員の期末手当と同様の半年ごとに100分の130月分を支給することについては、財政状況を考慮し、検討していきたい。

## 産業建設委員会

議案第96号 鈴鹿市都市公園条例の一部改正について

### 都市公園内の自動販売機設置などに入札制度を導入

(概要) 財源確保の観点から、都市公園内の自動販売機の設置および管理に入札制度を導入することにより、都市公園法第5条第1項の規定による許可に係る使用料を入札の落札金額とすることができるように改めようとするもの。

質疑 自動販売機の入札は、公園それぞれ単独で行うのか。または、複数の公園をまとめて行うのか。

答弁 現在、入札についての実施要綱を作成中であるが、同一公園内でも複数の契約業者を認めることや、複数の公園をまとめて契約するなどの手法も検討している。



都市公園内の自動販売機

## 予算決算委員会

予算の審査は、総務、文教環境、地域福祉、産業建設の各分科会に分かれ、詳細な審査を行いました。その後、予算決算委員会の全体会においては、各分科会から審査の経過と結果の報告を受け、審査を行いました。

## 総務分科会

議案第93号 令和元年度鈴鹿市一般会計補正予算（第4号）

### 台風第19号による被災地への職員派遣

○令和元年台風第19号被災地支援事業 120万円

(概要) 令和元年台風第19号に伴う被災地支援のため、被災地への職員派遣に係る旅費や支援物資に係る消耗品費などの経費を計上するもの。

質疑 本市から被災地に職員を派遣する場合、どのような要請を受けて派遣を決定するのか。

答弁 被災地に職員を派遣する場合、部局ごとに三重県から要請を受けて派遣する場合と、対口支援として派遣する場合がある。

今回は、三重県の環境部局および保健部局から県内各市町へ要請があり、本市からは、災害廃棄物処理のため環境部などの職員を長野県長野市に、保健師として被災地住民の健康調査や健康指導などのため健康づくり課の職員を宮城県丸森町に派遣した。

対口支援としては、三重県は長野県中野市に対口支援を行うことが決定され、本市でも対口支援への参加の意思表示をしていたが、派遣の要請がなかった。

対口支援…被災した自治体に対し、中心となって支援する自治体を総務省などが決めて、応援職員を派遣する支援のこと。



長野市での支援作業

## 文教環境分科会

議案第93号 令和元年度鈴鹿市一般会計補正予算（第4号）

### 学校トイレの洋式化に向けて設計に着手

#### ○教育施設環境整備費／学校トイレ洋式化整備費 400万円

**（概要）** 令和2年度に実施予定の小学校トイレの洋式化改修工事に向け、設計委託料の経費を計上するもの。

**質疑** 改修工事の設計委託はどのような内容か。また、今後実施を進める学校トイレの改修工事の順番は決まっているのか。

**答弁** 小学校2校分の児童用トイレ、教職員トイレおよび体育館トイレの洋式化の設計を委託する。

その後は今回の設計を参考に、市職員が設計を行う。

改修工事は、長寿命化計画の中で建築年数順に改修する計画をしていたが、長寿命化工事の着手が令和5年度からの予定であり、全校の改修完了は20年後となる。そのため、後半に実施予定の学校から順番に洋式化を進め、環境改善につなげていきたい。小学校11校、中学校3校が対象であり、事業完了は令和5年度までを想定している。



学校の和式トイレ

## 地域福祉分科会

議案第93号 令和元年度鈴鹿市一般会計補正予算（第4号）

### 風しんなどへの追加的対策を実施

#### ○予防接種費／定期接種費 1億1,818万7,000円

**（概要）** 定期接種のうち、厚生労働省からの通知に基づく高齢者肺炎球菌ワクチンおよび風しんの追加的対策事業の実施に係る経費を計上するもの。

**質疑** 風しんの抗体検査および予防接種の対象となる男性の数は何人か。また、予算はどのように積算しているか。

**答弁** 国は、対象者として、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性（39歳から56歳）としており、本市には約2万7,000人の対象者がいる。そのうち、今年度は昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性（39歳から47歳）が対象として国から指定されており、本市では約1万1,000人の対象者がいる。

クーポン券が届いた9割の方が抗体検査を受診すると想定しており、国の統計上、そのうちの2割が抗体を持っておらず、ワクチンの接種が必要になるという見込みで予算の積算をしている。



風しんの抗体検査クーポン券の案内

# 産業建設分科会

議案第93号 令和元年度鈴鹿市一般会計補正予算（第4号）

## 豚コレラ対策 イノシシの調査捕獲に伴う費用

### ○鳥獣被害対策費 127万1,000円

**（概要）** 県内で豚コレラ（CSF）に感染した野生イノシシが確認されたことに伴い、豚コレラ対策として野生イノシシの調査捕獲に伴う費用を計上するもの。

**質疑** 本市での豚コレラ感染状況はどうなっているのか。今回のイノシシ調査捕獲にあたり購入した冷凍庫の大きさは。調査捕獲が終了した後の冷凍庫の活用方法は検討しているか。

**答弁** 県内では、桑名市、いなべ市、菰野町で野生イノシシの豚コレラ感染が確認されているが、本市においては確認されていない。

冷凍庫は、60キログラムのイノシシが約10頭入る大きさである。調査捕獲したイノシシは、農村環境改善センターに設置してある冷凍庫に一旦保管する。

調査捕獲が終了した後の冷凍庫については、清掃センターなどでの使用を検討していく。



捕獲されたイノシシ

## 討 論（要旨）

討論は議案に対する賛否の態度、考え方を明らかにするものです。（討論順）

### < 議案について >

#### 中西 大輔議員（無所属）

議案第93号、議案第95号に反対 その他議案は賛成

議案第94号について、嘱託職員と臨時職員が会計年度任用職員にそれぞれ移行し、待遇改善につながるため賛成する。今後、人件費が約4,000万円台の増加となることを意識すべきである。

反対する議案第95号は人件費増額だが、市の財政見通しでは4年で約23億円の不足を想定し、後期計画4年間の市債発行額も約133億円と想定しており、将来世代の負担増が前提にされている中では納得できない。議案第93号の補正予算での人件費関連予算4,294万4,000円もあわせ、市の直面する課題や、市民の要望を実現するための財源確保が先であり、反対する。

#### 高橋さつき議員（日本共産党）

議案第93号に反対、その他の議案は賛成

小学校2校のトイレ洋式化改修への設計費計上はとても喜ばしく、予定校14校を早急に完了するようお願い賛成するが、マイナンバー制度を大きく普及させるため、政府によるマイナンバーカード交付円滑化計画を受けての

増額補正は反対する。巨額の当初費用、維持費がかかり、著しい業務の効率化、経費の削減にはならず、情報漏洩や紛失盗難などプライバシー侵害の危険があり日弁連も反対している。カード取得率が全国で約14%、本市で12.2%にとどまっているのは必要がないからである。普及促進目標を3年間で82%としており無理がある。必要としていないカード作成を押しつけるべきではない。

# 議決一覧（12月定例議会）

【賛成：○ 反対：×】

議案	会派名 ( )は所属議員数	鈴鹿市議団	自由民主党	市民クラブ	新緑風会	鈴鹿太志会	公明党	日本共産党	鈴和	無所属	議決結果
		(7)	(6)	(6)	(4)	(3)	(2)	(2)	(1)		
議案第93号	令和元年度鈴鹿市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	※1	○	×	○	×	原案可決	
議案第94号	鈴鹿市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	
議案第95号	鈴鹿市職員給与条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	○	○	○	※2	○	○	○	×	〃	
議案第96号	鈴鹿市都市公園条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	
議案第97号	市道の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	
議案第98号	市道の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	
議案第99号	鈴鹿市公平委員会委員の選任同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
議案第100号	鈴鹿市教育委員会委員の任命同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	
委員会発議案第5号	令和2年度自動車関係諸税の簡素化、負担軽減を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
請願第5号	令和2年度自動車関係諸税の簡素化、負担軽減を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	

※1、※2 明石孝利議員は反対、水谷進議員、平野泰治議員、市川昇議員は賛成。議長は原則として採決に加わりません。



## 会派等構成員一覧

自由民主党鈴鹿市議団	野間 芳実 矢野 仁志 宮木 健 森 雅之 太田 龍三 田中 淳一 桐生 常朗
市民クラブ	大西 克美 中村 浩 市川 哲夫 藪田 啓介 永戸 孝之 池田 憲彦
新緑風会	大杉 吉包 山口 善之 宮本 正一 山中 智博 河尻 浩一 前川 申龍
鈴鹿太志会	明石 孝利 水谷 進 平野 泰治 市川 昇
公明党	池上 茂樹 藤浪 清司 船間 涼子
日本共産党	石田 秀三 高橋さつき
鈴和	田中 通 南条 雄士
無所属	中西 大輔
無所属	森 喜代造（議長）

※採決時の会派等構成員一覧です。

# 意見書の送付について

意見書は、市の公益に関することについて、議会の意思を意見としてまとめた文書です。

次の意見書を可決し、国会および関係省庁に送付しました。

## ○令和2年度自動車関係諸税の簡素化、負担軽減を求める意見書

送付先：内閣総理大臣・財務大臣・国土交通大臣・衆議院議長・参議院議長

## 一般質問（要旨）

市議会ホームページにて一般質問の録画配信と会議録を公開しています。詳細は16ページをご覧ください。

新緑風会

山中 智博 議員

### 学校でのいじめ問題について

**（質問）** 全国の小中学校と高校、特別支援学校における平成30年度のいじめの認知件数は、前年度より13万件近く増え過去最高の54万3,933件に上った。①本市の実態と対応状況、②神戸市のような教員同士のいじめの有無、③独立した第三者を常時配置し専門的に取り組む制度について市の見解を問う。

**（答弁）** ①平成30年度の報告件数は小学校350件、中学校137件の計487件（前年度比140件増）。いじめを受けた児童生徒を徹底して守り通す姿勢で臨み、聞き取りや家庭訪問に教職員全体で対応している。②発生していないと認識しているが、今後も教職員への指導・啓発を行う。③現在のスクールカウンセラーの派遣だけでは対応が非常に困難であるため、第三者の介在は相談機能の充実につながると考える。

### その他の質問 ○次世代自動車の普及・促進

新緑風会

宮本 正一 議員

### 終活支援について

**（質問）** 委託費用が発生しない民間事業者と連携したエンディングサポート事業による業務の効率化、死亡時における各種手続きのワンストップサービスについての考えをたずぬ。

**（答弁）** 本市では、エンディングノートとして「大切なことを伝える終活支援ノート」を平成29年度に作成し、地域包括支援センター

が実施する出前講座などで配布し活用方法を説明するほか、長寿社会課の窓口でも希望者に渡している。今後はエンディングノートに加え、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）についても市民への普及啓発を進める。現在、終活に対する多くの相談が市や地域包括支援センターに寄せられているが、今後は先進事例を参考にエンディングサポートに関する民間事業者との連携やノウハウの取り入れについて検討する。

### その他の質問 ○災害時における避難所対応

無所属

中西 大輔 議員

### 公共施設・インフラの維持更新について

**（質問）** ①行政経営課、管財課、住宅政策課の公共施設部門を統合し、ファシリティマネジメント（施設とその環境を総合的に企画、管理、活用する経営活動）と、PPP（官民連携）・公民連携について取り組む部署を設置してはどうか。②小規模修繕などのために、仮称「ファシリティマネジメント基金」といった名目で

特定目的基金を設置し、一定額を確保してはどうか。

**（答弁）** ①部署について、一元管理と二元管理の優劣について、人口規模やメリット・デメリットなどを比較検証しながら、先行事例の研究を重ね、本市の環境にあった体制を検討していく。②消費的経費にあたる小修繕系工事について、計画的で効果的な取り組みを検討したり、既存の公共施設整備基金での運用などを検討していく。

### その他の質問 ○学校で子どもの権利学習を

## 災害から市民を守る取り組みについて

**(質問)** 家屋倒壊、津波への対策状況は。浸水被害想定の見直しによる内水ハザードマップの更新は行うのか。夜間・豪雨でも地下道浸水危険表示が見えるようにするべき。お湯が沸かせない状況でも使える液体ミルクを備蓄するべきでは。災害救助法による生活必需品給与制度などの周知について尋ねる。

**(答弁)** 市職員による戸別訪問を行い、平成30年度末の住宅耐震化率は88.2%。津波避難ビルは現在28施設、収容人数は約2万8,000人である。近年、内水氾濫による浸水被害が増えていることから内水ハザードマップの更新を検討していく。地下道利用者が夜間でも冠水注意看板を視認できるよう改良を順次進めていく。液体ミルクは、粉ミルクの備蓄を補完するものとして導入を検討したい。発災後すぐに被災者にさまざまな支援制度の周知が図れるようパンフレットを作成する。

## 旧神戸中学校跡地について

**(質問)** 現在に至っても教育委員会や他の部署でも活用方法はない中、この跡地を教育財産として持ち続け、地域は期待に振り回され、時間が過ぎていくことは、行政全体に責任があり、早く結論を出すべきである。

**(答弁)** 跡地の利活用の方向性は、平成22年の敷地全てを売却する方針以降、さまざまな意

見を受けて活用案の検討を重ね、その後、構想案も平成22年、平成26年、平成30年と変遷してきた。教育委員会としてさまざまな方針を提案しながらも結果的に最終的な方針決定には至っていないのが現状である。また平成22年以降、跡地の除草作業には、これまで約870万円、文化財の発掘調査には約9,100万円を支出している。今後、教育委員会内で方針決定を早急に行い、市としての方針を早期に決定していきたい。

### その他の質問 ○交通安全対策

## 教育に関する大学との連携について

**(質問)** ①教育で現在行っている学官連携の中で、鳴門教育大学教職大学院・三重大学教職大学院との連携の効果と今後について、②皇學館大学との連携の効果と今後について、市の考えを尋ねる。

**(答弁)** ①中学校は鳴門教育大学に、小学校は三重大学に教員を派遣して、今後のリー

ダーの養成を図っている。また、市内中学校の研修強化などに効果が出ており、今後も継続の方向で考えている。②皇學館大学とは平成28年度に学官連携に関する協定を締結し、相互に連携し、協力を深めている。特に5歳児健診のフォローについては、今後も、継続して連携を図っていく。また、保護者への適切な支援を進めるために、教職員や管理職を対象とした研修に講師として招聘していく。

### その他の質問 ○教育委員会事務局の人員配置

## 子ども食堂等について

**(質問)** 子ども食堂、認知症カフェの実施状況と補助制度の有無について。また、鈴鹿市における子どもの居場所づくりと地域食堂についての考え方はどうか。

**(答弁)** 本市における子ども食堂はNPO法人の自主的活動として実施されている。市としての補助制度はない。地域の交流拠点として

や子どもの居場所づくりとして必要な事業であると考えている。認知症カフェは市内16カ所で実施されている。補助制度はないが、ステッカーとのぼり旗の配布や市民への周知の支援を行っている。子どもの居場所づくりについては保護者と子どもが集える居場所が重要であるとする。財政的な支援については、地域課題解決のための主体的な活動への支援として設けている市民活動団体や地域づくり協議会への補助制度の活用をお願いしたい。

### その他の質問 ○特別支援学級等の学習支援



## 教育課題改善について

**(質問)** 学校規模適正化・適正配置について、平成30年3月に作成された学校規模適正化・適正配置に関する基本方針では、全市的な視点で検討を行っている。天栄中学校区での小規模校適正化において説明会、アンケートが実施された。予算や学校統合範囲、行政区との課題、交通手段など行政の考え方を示した

上で保護者、地域住民の声を聞き、調整を図り促進スケジュールを示してほしい。

**(答弁)** これまで学校運営協議会、地域、保護者説明会、アンケートを実施してきた。今後は意見や集計結果を踏まえながら適正化の具体的な方向性や手法について検討を進めていく。統廃合ありきでなく地域コミュニティの核としての学校の役割も踏まえ、子どもにとって望ましい教育環境を第一に考える。  
その他の質問 ○監査体制 ○健康福祉施策について再度鈴鹿市としての公式見解を

## 鈴鹿市の将来を見つめて

**(質問)** 公共施設マネジメントの個別施設計画のあり方について、市民の生活に大切な公共施設であるが、本市では令和2年度末までに公共施設マネジメントの個別施設計画を策定することとなっている。現在の策定状況と計画内容について。また、本市の現状にマッチした実現可能な計画とすべきであるが、こ

の点についてどのように考えているのか。

**(答弁)** 現在、主管課長で構成する会議、各施設担当課による作業・協議を行い計画の策定を進めている状況である。計画は、目標使用年数を原則80年と設定し対象施設を定め計画期間32年間で4年毎に計画を見直していくという内容。また実現可能な計画とするため財政状況、社会情勢を考えた上で、市民との情報共有などコミュニケーションを高め、公民連携の手法などによる複合化を計画しながら、持続可能な行政経営を進める。

## 鈴鹿市の農業について

**(質問)** ①現状と課題について、②もうかる農業経営について、③スマート農業について、④農地の有効活用について問う。

**(答弁)** ①本市の農家数は10年前と比較すると1,268戸減少している。農業従事者を増やすとともに安定収入を得られる施策を展開することが今後の課題。②大規模農家については

農地中間管理事業などの国の各種補助事業を活用する。中小規模農家に対しては地産地消の取り組みなどを推進し収入増につなげる。③本市の導入状況は大規模な担い手農家で自動走行トラクターによる耕起やドローンによる農薬散布の事例がある。今後さらに発展が予想される中、支援していく。④耕作放棄地など農地に戻せない場合、農業委員会が主体となる非農地判定と所有者が申請する非農地証明の方法があり、農用地の除外は農振法に則して適切な対応を行っていく。

## 学校環境の課題について

**(質問)** ①施設の多くは老朽化が進み、何年も壊れたままの状態や使用禁止が多く、メンテナンスが追い付いていない。維持修繕費を増額し、手入れの行き届いた施設にすべきである。②教職員が過密労働、長時間勤務で疲弊している。介助員、支援員、スクールカウンセラーなどの増員要望も多く、どのように

対応していくのか。教職員が雑務に追われることなく本来の業務に専念できるように、教育予算を手厚くするよう求める。

**(答弁)** ①施設の維持修繕については、財政負担の平準化を図りながら学校要望を参考に最小の経費で最大の効果を得るよう努める。②国・県に対し、教職員定数の改善、加配定数の増員を要望した。実態をしっかりと把握し、介助員、支援員などの配置を適切に行っていく。教育環境の充実は重要と認識しているが、全体のバランスも重要と考えている。

## 国民健康保険について

**(質問)** 国民健康保険料を滞納している世帯への資格証明書、短期保険証の発行は機械的・一律に行うのではなく、悪質な滞納か否かを十分に調べた上で行わなくてはならない。横浜市では各世帯の実態を把握し悪質滞納者と証明できなければ正規保険証を発行することで、資格証明書・短期保険証の発行件数が令

和元年8月以降ゼロになった。本市でも市民の命綱である保険証を資格証明書・短期保険証にするマニュアルは見直すべきである。

**(答弁)** 資格証明書は、被保険者間の負担の公平を図る観点から、特別な事情がなく国民健康保険料を納付しない被保険者に交付し、短期保険証は納付状況に応じて交付している。国民健康保険制度の持続的運営のために、資格証明書の交付は必要と考えている。

**その他の質問** ○交通安全対策 ○非正規職員の処遇改善

## 学校教育への危惧

**(質問)** ①あいさつ・敬語・姿勢などの改善指導を②中学校でも毎日の宿題提出と確認を。全中学校同一日時の統一テスト実施を③家庭でのスマートフォンの禁止または依存防止策を。代わりに本を持たせよう④学業と部活動の優先順位は。部活動指針を守らない教員対応を⑤部活動での怪我の状況と改善策⑥部活動での応援が

いじめとならないよう指導を⑦学校業務の妨害に対して毅然とした対応を。

**(答弁)** ①家庭と連携し指導する②宿題確認による授業改善を指導する。統一テスト実施は難しい③保護者による管理の必要性を啓発する。学校・家庭での読書活動を充実させる④何よりも学習指導が中心だ。部活動優先は不適切で、顧問への指導を続ける⑤休養日などの設定、安全管理の研修などが必要だ⑥顧問・生徒の不適切発言を許さず、厳しく指導する⑦弁護士への相談など、法令に基づき対応する。

## 少子化対策について

**(質問)** 少子化は市政運営にも大きな影響をもたらす社会環境の変化である。本市は少子化対策にどのように取り組んでいるのか。特に、直接効果のある結婚機会の提供として、どのような取り組みをしているのか。

**(答弁)** 少子化対策事業として、各種の母子保健事業や子育て支援事業を実施しているほ

か、結婚支援に関する取り組みとして、県が設置している「みえ出逢いサポートセンター」と連携し、結婚に関する情報の提供や、イベントの場の提供に協力している。また、子育て応援サイト「きら鈴」にも婚活イベントの開催情報を随時掲載している。結婚や出産について、地域の企業や団体に対して本市ができるサポートや共に活動できる取り組みについて研究し、結婚や少子化対策につながるよう努めていく。

**その他の質問** ○学力向上

## 鈴鹿市の災害対策について

**(質問)** ①大規模な水害が発生した場合に備え、高齢者、災害時要援護者に対し、ライフジャケットを配布してはいかがか。②地域の自主防災隊の住民が災害時の救護活動用にライフジャケットを購入する場合、自主防災組織活性化事業補助金を利用すると、購入額の2分の1（上限15万円）の補助があることについて、

自治会への啓蒙が必要ではないか。

**(答弁)** ①水害から身を守るためには、市民が市からの情報を的確に取得し、適切な避難行動をとることが重要であり、ライフジャケットの配布については、災害時要援護者に安心感を与える利点もあるが、避難の遅れなどにつながることも危惧され、配布する考えは現在持ち合わせていない。②補助金については今後、地域の防災訓練、集会などを通じ啓発、周知していきたい。

**その他の質問** ○鈴鹿市の環境対策

## 子どもの権利条例について

**(質問)** 国連の子ども条約が求める、子どもの「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」を守るため「鈴鹿市子どもの権利条例」を制定するべきである。

**(答弁)** 本市では、市の最高条例である「鈴鹿市まちづくり基本条例」の第6条で、子どもの4つの権利を守ることを定めている。さ

らに来年度から始まる第2期鈴鹿市子ども・子育て支援事業計画で、条例を理念にとどめることなく、具体的な施策や実践で生かしていく。この事業計画を推進する中で、子どもの4つの権利が守られているかを、PDCAサイクルにより、点検・評価を行い、事業をより効率的、効果的に推進することとしている。なお、この計画は、総合計画2023推進プランの個別計画として位置付けられている。  
**その他の質問** ○多文化共生の取り組み ○総合計画の進行管理

## 鈴鹿市駅周辺と神戸中学校跡地利用について

**(質問)** 神戸中学校が移転して10年近く空き地のままである。問題となっているのは幼稚園建設予定地の約4,000平方メートルについてだけであり、計画は白紙状態となっている。現在は住宅地として売却する方向になりつつあると聞いているが、今後、中勢バイパス、鈴鹿四日市

道路、鈴鹿亀山道路の道路アクセス環境が整いつつある中、再度期限を切り、駅から歩いて数分の利便性も活かせる公共施設を検討すべきではないか。

**(答弁)** 教育委員会では活用方法について検討を行ってきたが、利活用がないのが現状である。鈴鹿市駅周辺にある公共用地でもあるため、もう一度行政経営会議やプロジェクト会議などにおいて、全庁をあげて議論をしていきたい。

**その他の質問** ○鈴鹿市の公共施設

## ひきこもり対策について

**(質問)** 本市で支援を要するひきこもり状態の人や家族などが、適切な相談に至らず、長期化してしまう前にサポートにつなげる必要がある。実態調査、より相談しやすい体制の整備、居場所づくり、就労支援などの支援機能の強化について、民間の支援団体の協力を得て委託するなど、県のひきこもり地域支援

センターとの連携・協力を図る、本市でのひきこもりサポート事業の創設について問う。

**(答弁)** 本市でも相当数の方がひきこもり状態にあると推察されるが、人数などの実態の把握はできていない。ひきこもりサポート事業を実施するには、専門職の人材確保や事業の実施方法といった課題もあり、早急に検討しなければならないと認識している。本人の社会復帰に向けた支援について、支援手法の構築、支援の機能強化などを検討していく。

## マイナンバーカードの取り組みについて

**(質問)** マイナンバーとは、社会保障・税番号制度で、日本国内の全住民に指定・通知されている12桁の番号のことであるが、マイナンバーカードの申請件数、交付率について。また、マイナンバー制度の活用による市民サービスの向上を目的に図書館利用カードや健康マイレージなどの付加価値を付け、交付

率向上に努めるべきと考えるがいかがか。

**(答弁)** 10月末時点でマイナンバーカードの申請件数は3万11件、交付件数は2万4,466件で人口当たりの交付率は12.2%である。今後も普及促進に取り組んでいきたい。マイナンバーカードを活用した情報の一元化についても、住民サービス向上や地域経済の活性化につなげることができるのか、費用対効果はどうか、他の自治体の事例などについて調査・研究していきたい。

**その他の質問** ○スポーツ施設

## 食品ロス削減推進法の取り組みについて

**(質問)** 食品ロス削減推進法が本年10月に施行された。わが国の食品ロスの量は、環境省によると平成28年度で年間643万トン、国民1人当たり1日約139g、お茶碗1杯のご飯を国民全員が毎日捨てている量になる。その内、食品関連事業者が54.7%、一般家庭が45.3%を占

めている。一般家庭はもちろん、食品関連事業所などの各種関係団体とも連携を深め、食品ロス削減とその有効活用に取り組むことが肝要だと考えるがいかがか。

**(答弁)** 食品ロス削減に向け、市民ならびに食品関連事業者、また市役所関係部局とも連携し、また先進的な取り組みを行っている関係機関・団体の情報を収集して、本市独自の先進的な食品ロス削減の施策に取り組んでいきたい。

**その他の質問** ○一般介護予防事業のあり方

## 子ども達を取り巻く環境について

**(質問)** ①2022年度から初等中等教育機関に開放されるSINET(学術情報ネットワーク)に対する本市の取り組みは。②市内に担任不在のクラスが多数あるが、状況と対応は。③千代崎水門下流堤防被災による通学路変更では、工事終了後の通学路復旧に時間を要した。地域の困難な状況が顕在化し鈴鹿市通学路交通安全プ

ログラムが機能し始めて問題が解消されたが、今後はどうするのか。

**(答弁)** ①SINETについては、次年度以降の国の動向を注視していく。②担任不在の中学校は1校、小学校は6校あり、担任業務については副担任や専科教員などが引き継いでいる。③鈴鹿市通学路交通安全プログラムは校長会でも周知し、通学路変更についても学校を支援していく。

**その他の質問** ○地域づくり協議会が協力を求める組織との連携

## 熱中症対策と検証

**(質問)** 記録的な高温や猛暑により、熱中症で体調を崩す事案が多く発生しているが、本市の子どもたちへの熱中症予防対策について、モニタリングスポットの活用状況は。また、小学校へ冷水機を設置してはいかがか。

**(答弁)** 本市のモニタリングスポットは、ポテカと呼ばれる超高密度気象観測システムの

活用を促し、市内の小学校など15カ所に整備している。アプリを通じて、気温、湿度、気圧、暑さ指数などについて簡単に把握することができるため、熱中症事故の防止に努めるよう各校へ周知している。また、冷水機の設置について小学校長から要望がある場合には、モニタリング調査を前提として、可能な範囲で実際の小学校への設置を試み、冷水機の効果について検証も考えていく。

**その他の質問** ○防災・減災対策 ○小学校教科担任制と教科センター方式

## 市営住宅について

**(質問)** ①単身高齢者同士で市営住宅をルームシェアすることで、家賃・光熱費などの負担が軽減され、滞納対策につながると考えるがいかがか。②契約更新制度の導入について、困窮時の入居者に対して連帯保証人の有無は大変な負担であり、緊急連絡人の代用はできないか。

**(答弁)** ①家賃の軽減、相互の見守りなど有効な利用方法であると考えられるが、入居者間のトラブルや、駐車場など多くの課題があると考えられ、今後、先進地の取り組みを調査・研究していく。②契約更新時に高齢者や障がい者など、特に配慮を要する世帯に対し、連帯保証人の条件の緩和なども検討していく必要があり、県や他市の意見も参考にしながら検討をしている。

**その他の質問** ○不登校児童生徒への学力支援 ○災害時の緊急伝達

# 第11回議会報告会の概要をお知らせします



令和元年11月13日(水)に議会報告会を市役所12階会議室で開催し、59名に参加をいただきました。第1部では常任委員会の所管事務調査報告を、第2部では意見広聴を行いました。

## 【第1部 常任委員会の所管事務調査事項(本年度分)について】

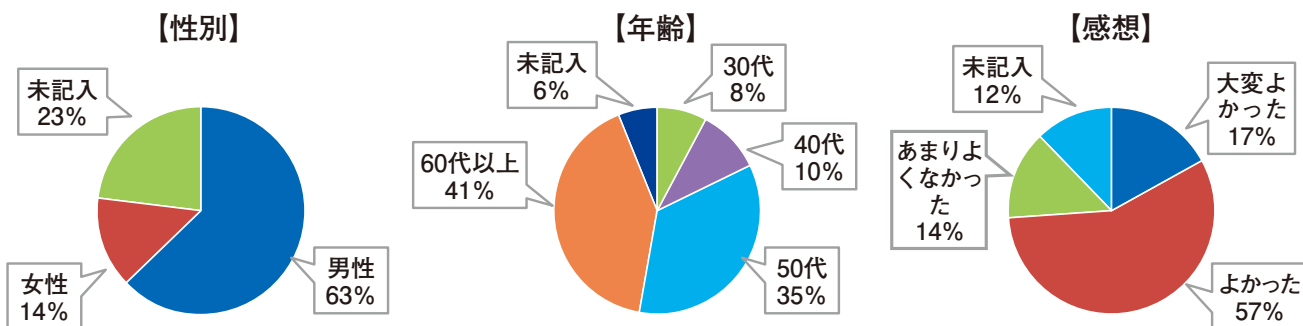
4常任委員会の調査研究の経過について、各委員会から1テーマを報告し、会場から意見をいただきました。

- 総務委員会「消防設備の強化について」
- 文教環境委員会「学力向上の取り組みについて」
- 地域福祉委員会「幸齢社会について」
- 産業建設委員会「空き家対策について」

## 【第2部 意見広聴】 広く議会に関する意見をいただきました。

- ・鈴鹿市総合計画2023について、県議会同様、基本構想だけでなく、単位施策・詳細事業についても議決対象にするとともに、議会において事業評価を行うべきである。
- ・小中学校のトイレを洋式に改良してほしい。
- ・地域づくり、まちづくりなどに、市民の意見が反映できるようにしてほしい。
- ・まちづくり協議会の中に市議会議員が入ってほしい。

## アンケートでいただいた意見など (回答者49名)



### 【自由記述欄から】

- ・多くの意見が出て活発だった。たまには全体で行うのもよい(広く意見が求められる)。ただし、回答内容が浅く感じるものもあった。
- ・第2部の時間は10分では短いのではないか。
- ・平日の夜以外に土、日曜の昼にも設定し、多くの人に参加していただける環境を整えるべきではないか。
- ・1回だけでの開催では、参加者からの意見が少なくなると思う。
- ・市役所1カ所の会場のほうが市全体の意見が多く、地域の何カ所かで開かれるよりもよかったと思った。
- ・会場は市役所と地区公民館を隔年で開催してはどうか。

議会報告会の実施結果は議会ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。



各常任委員会が1つの会場で、現在進めております所管事務調査について報告を行うという形式は、今回が初めての開催でした。今後も、市民の皆さまのお声を聴かせていただき、情報共有をしながら、より開かれた議会となるように取り組んでまいります。

# 令和元年度市政への提言

総務・文教環境・地域福祉・産業建設の4つの常任委員会では、それぞれの所管事務について調査研究をしてきました。その調査研究した成果を令和2年度の予算編成や政策決定の参考として、これらを市政に反映されるよう、1月15日に正副議長と各常任委員会委員長が提言書を市長に手渡しました。



## 総務委員会

### 1 災害対応の強化について

- ①災害対策本部運営マニュアルを改定し、三重県広域受援計画に対応した受援体制の整備を進めるに当たっては、さまざまな部署が平時の機能を生かして受援に係る業務を担う体制になるよう検討すること。
- ②災害に関する情報提供の促進のため、広域的な情報提供ができる防災アプリなどの新たな情報発信手段について調査・研究していくこと。

### 2 消防設備の強化について

- ①通信指令業務などの共同運用を進めるに当たっては、通信指令業務に係る人員を削減し、消防車両の乗車人員を現在の3名体制から4名体制とすることで現場要員を増強し、消防力の強化を図ること。
- ②消防車両の整備について、その出動頻度、整備に要する費用などを慎重に考慮した上で、整備に要する費用を抑制し、効率的に財源を使用することができるよう、共同整備などの実施を検討すること。



35メートル級はしご車

## 文教環境委員会

### 1 人と動物（犬・猫）の共生社会の推進について

- ①災害時の動物対応として、ペット防災手帳の周知に努めること。
- ②県保健所や関係団体と連携したさらなるTNR活動(\*)の周知、普及啓発に努めること。
- ③犬・猫の避妊去勢手術の助成事業の拡充に努めること。



### 2 市民及び小中学校に対するごみ（食品ロス）削減の取り組みについて

- ①ごみの排出量をホームページなどで公表し、総合計画2023のごみ排出量の目標値を目指した普及啓発に取り組むこと。
- ②子どもたちへの取り組みには総合学習などを継続して活用し、意識向上に努めること。

### 3 学力向上の取り組みについて

- ①ICT環境整備後の効果検証を実施し、継続的、持続的に学力向上につながる取り組みに努めること。
- ②ICT環境を有効に活用して適切に指導できる教職員の研修、教職員のスキル向上の充実に努めること。

\*TNR活動…地域猫を捕獲(トラップ)し、避妊手術(ニューター)をして、元の場所に戻す(リターン)活動で、繁殖を防ぐために行われる。



## 地域福祉委員会

### 1 地域づくり支援について

- ①自治会との関係を含めた地域づくり協議会のあり方を明確に整理し、地域および市民に示すこと。
- ②一括交付金については、公平性を担保し、地域の実情に応じて活用できるよう、その金額、使途、分配方法などを整理し、制度設計を行うこと。

### 2 子どもの権利について

- ①条例の制定を念頭に、虐待など、子どもを取り巻く課題と、その課題を解決するための取り組みを全庁的に整理すること。
- ②条例制定の検討に当たっては、庁内組織をはじめ、民間機関、市民などから幅広く意見聴取を行い、市全体の事業の検証も合わせて行うこと。

### 3 幸齢社会について

- ①大学などの学術機関との連携をさらに進め、レセプトデータを活用した健康づくり施策により医療費の適正化に努めること。
- ②生活習慣病などの重症化予防のため、検診後の追跡調査・指導などを医師会などと連携して行うこと。
- ③成果連動型支払の手法などによる民間活用を含めた認知症予防施策を進めること。



介護予防教室

## 産業建設委員会

### 1 鳥獣被害対策について

- ①地域の力をもとに、地域一体で取り組む体制づくりを検討していくこと。
- ②地域に情報を発信し、ICTなどの活用を検討していくこと。



市内で確認されているニホンジカ

### 2 空き家対策について

- ①より正確な情報を把握するための調査を大学や自治会などと連携して行えるよう検討していくこと。
- ②使える空き家についてのリノベーションなどの支援を拡充し、民間を活用した移住促進などの地域活性化を検討していくこと。

# 議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か



本会議や委員会などを傍聴するときは、市役所14階の議会事務局で傍聴券を受け取ってから入室してください。傍聴の受け付けは、会議開会の30分前からです。

なお、会議開催予定は、市議会のホームページや市役所の掲示板などでお知らせします。



本会議場：定員53名      委員会室：定員10名

## 音声が聞き取りにくい方に



議場傍聴席にて聞き取りにくい方には、ヘッドフォンを貸し出していますので事務局へお申し付けください。

また、手話通訳と要約筆記をご希望の方は、事前にお申し付けください。



## 議会に来られなくても…

### CNS（ケーブルテレビ）で生放送

本会議をデジタル112chで生放送しています。放送時間は午前10時（開会時間）から会議の終了までです。

### 議会のホームページで録画映像配信

市議会のホームページで、テレビ中継した映像をおおむね2週間後に録画配信しています。

スマートフォン・タブレットなどのモバイル端末でも視聴できます。

## もっと詳しく知るには…

### 会議録があります！

会議の詳しい内容については、市役所本館14階の議会図書室と4階の行政資料コーナーで閲覧できます。

なお、本会議の会議録は、市立図書館や各地区市民センターなどでも閲覧できます。

また、鈴鹿市議会ホームページで会議録を公開しています。

※12月定例議会の会議録は、2月下旬に配置予定です。

## 詳しくは議会事務局にお問い合わせください

### 皆様のご意見をお聞かせください

市議会や市議会だよりに対する皆様のご意見・ご提案・ご要望をお聞かせください。今後の参考にさせていただきます。

あて先は

### 鈴鹿市議会事務局

〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号  
TEL:059-382-7600 FAX:059-382-4876  
mail:giji@city.suzuka.lg.jp

### 議員からの寄附は禁止されています



議員（候補者を含む）が、親睦旅行会・会合・お祭り・運動会などの行事に、寄附や差し入れなどをしたり、祝い金（出産・新築など）や贈り物をするのは、公職選挙法などにより罰則をもって禁止されています。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 2・3月の会議日程

※日程は変更される場合があります。

月	日	曜	時	内容
2月	10日	月	10:00	全員協議会
	12日	水	10:00	議会運営委員会
	19日	水	10:00	本会議(提案説明)
	20日	木	14:00	議会運営委員会
3月	2日	月	10:00	本会議(代表質問)
	3日	火	10:00	本会議(質疑、一般質問)
	4日	水	10:00	本会議(一般質問)
	5日	木	10:00	本会議(一般質問)
	9日	月	10:00	本会議(一般質問) 議会運営委員会(本会議終了後) 各派代表者会議(議会運営委員会終了後)
3月	10日	火	10:00	本会議(一般質問、追加議案等、委員会付託) 予算決算委員会(本会議終了後)
	11日	水	10:00	文教環境委員会(分科会) 産業建設委員会(分科会)
	12日	木	10:00	総務委員会(分科会) 地域福祉委員会(分科会)
	13日	金	10:00	文教環境委員会(分科会) 産業建設委員会(分科会)
	16日	月	10:00	総務委員会(分科会) 地域福祉委員会(分科会)
	18日	水	10:00	予算決算委員会 各派代表者会議(予算決算委員会終了後) 広報広聴会議(各派代表者会議終了後)
	24日	火	10:00	議会運営委員会
25日	水	10:00	本会議(委員長報告、討論、採決) 全員協議会(本会議終了後) 議会だより編集会議(全員協議会終了後)	